

米国LGBTマーケティング企業、Target 10と連携協定を締結

－ 日米PR・マーケティング会社が初の国際連携を実現 －

株式会社サニーサイドアップは、2015年10月26日、米国ニューヨークに本社を置く Target 10社と連携協定を締結しました。同社は米国で人口の10%を占めると言われるLGBT<Lesbian（レズビアン：女性同性愛者）、Gay（ゲイ：男性同性愛者）、Bisexual（バイ セクシュアル：両性愛者）、Transgender（トランスジェンダー：性同一性障害を含む、生まれた時の性とは違う性を生きる選択をする人）の頭文字をとったセクシュアル・マイノリティを総称する言葉のひとつ>のマーケティングに特化した企業で、LGBTとLGBTを顧客として重視する企業をつなぐコンサルティング、マーケティングプランや広告等のコミュニケーションサービスを提供しています。今回の提携は、日米におけるLGBTを含むダイバーシティの普及を目的とし、日本ではこれまでにない形の海外連携となります。

日本では人口の7.6%（13人に1人）がLGBT層という調査結果（電通ダイバーシティ・ラボ）が発表されていますが、米国で連邦最高裁判所が同性婚を認める判断を下し全米で同性婚が合法化され、本年11月には東京都渋谷区・世田谷区が全国に先駆け、結婚に相当する関係を認めるパートナーシップ証明書の発行がスタートするなど、LGBTを取り巻く潮流は大きく変化しています。

弊社ではLGBT当事者と支援者による性の多様性普及啓発活動である「TOKYO RAINBOW WEEK」のサポートを行ってまいりましたが、本年7月1日には国内外のダイバーシティに関する情報発信を実践するプロジェクト「SSU DIVERSITY LAB（エスエスユー・ダイバーシティ・ラボ）」を発足。同時に異性間における婚姻時に社員に与えていた権利（結婚休暇の付与、結婚祝金の贈呈、配偶者が出産した際の出産祝金の贈呈）を同性婚にも適用する制度改革を行いました。

今回の提携ではダイバーシティに関する創造的事例や調査結果を「SSU DIVERSITY LAB」を通じて紹介していくだけでなく、LGBT層や、LGBT層を応援する人々によって生まれる新たな消費や経済効果にも着目。日本でLGBT市場と向き合う企業へのコンサルティングやマーケティング等のサポートや、両社連携によるビジネスチャンスの創造を視野に協力関係を構築。「We're all the same, because We're all different.」のスローガンのもと、互いの個性を敬意とともに認めあうことが、当たり前となる社会の実現をゴールとして、活動を続けてまいります。

◎ Target 10 President, Matthew Tumminello によるコメント

今回の連携協定は、我々が10年以上米国で行ってきた取り組みを更に強化するものであり、LGBT問題における急速な進展を表しています。LGBT市場にグローバルな視点をもたらす事はLGBT業界の為だけでなく、LGBT平等の発展の為にもとても重要だと考えています。

◎ 株式会社サニーサイドアップ 代表取締役社長 次原悦子 によるコメント

日本でもさまざまなムーブメントが起き始めているタイミングでの提携実現を非常にエキサイティングな気持ちで受け止めています。この機会をぜひダイバーシティという言葉が不要になる、多様性を認め合うことが当たり前の社会の実現に向けて大切に生かしていきたいと思えます。

◎ Target 10 概要

Target 10は米国を代表するLGBTマーケティングエージェンシーです。クライアントのために、効果測定可能な結果を生み出す戦略的、総合的なマーケティングプログラムを構築します。ニューヨークを拠点し、これまでLGBTに向けた取り組みや実績において数々の賞を受賞しており、LGBT業界を牽引するマーケティングエージェンシーとして知られています。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社サニーサイドアップ 社長室 広報ユニット 担当：服部・古志野（このの）
TEL: 03-6894-3232 | FAX: 03-5413-3052 | E-MAIL : info@ssu.co.jp